

令和2年11月7日

第16期(元年10月～2年9月)個別事業報告書

事務局

概要

16期では、前期から予定していた事業が全体活動に貢献しました。

1つが自治体の「特定個人情報の取扱点検継続業務」。あとは、同じく自治体向けの職員研修等(3回開催)で、収入面で大いに貢献しました。これに従来からの業務(赤い羽根事業、ICT支援)を加えると当期、および次期への受注残としては十分な額になります。

受注残で言えば、「GIGA スクールサポーター」として、教育委員会からの引き合いをいただき、契約へ進めており状況です。

業務面では、「スマホ・ケータイ出前講座」において、赤い羽根助成事業では通年で多くの学校で実施。県主催事業の同種講座では、10数か所実施しました。ただ、今年4～7月はコロナの影響でほとんど実施できず、次期に持ち込まれました。

個別活動

1. スマホ・ケータイ安心出前講座(以下、年度表現は県の予算年度)

講座を4月に募集したが4月時点では、休校の真ただ中で、申し込みはほとんどなかった。ようやく年間の予定が可能になった5月に申し込みがはじまり、約1か月後に満杯になった。休校中は、学校から生徒の観察ができず、ネット上でのトラブルが多く発生した様子。講座の実施の意義が大いに認識された。令和3年度も申請中で、(赤い羽根の)助成がもらえれば、40講座を実施します。新規の学校を多く実施するよう、案内や受付の際に考慮したいと思います。

2. ICT支援事業、GIGA スクールサポーター事業

実施中の各学校(3校)の支援を継続し中です。当面、当町での支援は続くものと考えます。急遽始まった「GIGA スクール」との関係で、その区分が不明瞭で対応に苦慮していますが、生徒全員に配布されるタブレットへの取り扱いなどを十分に支援できるように体制を作っていこうと思っています。多くのサポーターが必要とされ、対応できる学校数も限定されます。

実施中の自治体ともう1か所(学校数計8校)へのサポートが決定しています。

3. 自治体向け情報セキュリティ、「中期情報化調査」

「マイナンバー制度」等の職員研修については、前期、2自治体で実施しました。引き続き自治体へアプローチします。特定個人情報点検業務(支援)については2年目としてサポート中です。引き続き内部監査の実施支援や点検のフォローで3年度も見積を提出しています。

「中期情報化調査」で、今後の基幹業務に対する情報システムのあり方について調査研究(提言)を受注しました。国でも、(新しい政府から)「地方自治体の情報システムの標準化」を強く要請されています。国や全国の動向について、来期に早急に県内で「勉強会」を立ち上げたいと思います。

4. その他

会員は現在、14名です。

以上の活動報告です。

以上